

氏名	大林 芳明
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博 甲第 6081 号
学位授与の日付	令和元年 12 月 27 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科 生体制御科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)

学位論文題目 Switching strategies for antipsychotic monotherapy in schizophrenia: a multi-center cohort study of aripiprazole
(統合失調症患者におけるアリピプラゾール単剤治療への切替方法についての検討 (多施設コホート研究))

論文審査委員 教授 千堂年昭 教授 阿部康二 准教授 北村佳久

学位論文内容の要旨

慢性の統合失調症患者において、抗精神病薬の変更はリスクを伴う。副作用の少ないアリピプラゾールへの切替は難しいことが知られる。アリピプラゾール単剤への切替を成功させる方法と関連因子を検討した。

本研究は後ろ向きコホート研究であり、岡山大学病院、岡山県精神科医療センターの倫理委員会で承認されている。上記 2 施設で、2005 年 4 月～2010 年 3 月に、前抗精神病薬よりアリピプラゾール単剤に切替えた 178 名の慢性の統合失調症患者で 6 か月継続率を切替方法で比較した。切替方法は上乗せ漸減 (n = 45)、漸減漸増 (n = 62)、即時切替 (n = 71) である。統計解析は Cox 比例ハザードモデルを用い、交絡因子で調整した。

アリピプラゾール上乗せ漸減は即時切替より低リスクであった (ハザード比: 0.42)。これは前薬を、副作用ではなく精神病症状を理由に切替えた場合のみ認めた。

慢性の統合失調症患者で、精神病症状を理由としたアリピプラゾール単剤への切替は、上乗せ漸減法が有効である。

論文審査結果の要旨

本研究は、慢性統合失調症患者の抗精神病薬の適正な変更についての後ろ向き観察研究である。副作用の少ないアリピプラゾール単剤への切替を成功させる方法と関連因子の探索を目的としている。

前抗精神病薬よりアリピプラゾール単剤に切り替えた 178 名の慢性の統合失調症患者で 6 ヶ月継続率を切替法で比較している。切替方法は上乗せ漸減、漸減漸増そして即時切替である。その結果、アリピプラゾール上乗せ漸減は即時切替より低リスク(ハザード比:0.42)であった。これは前薬を、副作用ではなく精神病症状を理由に切替えた場合のみ認められた。

本研究で得られた新知見は慢性の統合失調症において、他の抗精神病薬からアリピプラゾールへの適正な切り替え方法に対する治療戦略に繋がるものとして価値ある業績である。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。